

2022年
7月

津軽保健生活協同組合

藤代健生病院

地域連携室だより

No.17



写真提供：名誉院長 坂本 隆

～ 理念・使命 ～

藤代健生病院 理念

1. 患者様との共同の営みとして、医療を行う。
2. 「医療の安全」「医療の質の向上」に努める。
3. 「人間らしく生きる権利の回復」を目指す。

藤代健生病院 使命

- ・ われわれの病院は、病気や障害があっても社会生活から離れることなく普通に生活を出来るように支援する。
- ・ 地域生活する能力を再獲得できるよう援助やリハビリシステムを作り上げ、さらにより良い効果的システムを探求する。

『藤代健生病院コロナ病棟の紹介』



院長
関谷 修

2021年12月1日、県内初となる、精神科疾患を有するコロナ陽性者専用の病棟を当院で開設しました。病床数は20床。そこに18名の看護スタッフ、2名の医師、そして薬剤師、作業療法士などが集結して体制ができました。

でも、通り一遍の医学的知識は持っていたものの、実際には初めてのことばかり。感染対策に漏れはないだろうか、もし肺炎が重症化したらどうしようか、不穩の患者さんに不安与えずに近づくにはどうすれば良いだろうか、など私たち自身が不安をたくさん抱えたままの出発でした。同時に、少しでも良い医療を提供したいという思いから、東京都立松沢病院コロナ病棟で研修をさせていただいたり、健生病院の豊富な経験を学ぶ機会を設けたり、と自ら積極的に知識と手技を吸収しました。

何かの巡り合わせでしょうか。開設後の1ヶ月間は日本全体でのコロナ感染者が激減していた時期に当たり、病棟内はとても静かでした。年末の頃、オミクロンという名の新種のウイルスが外国で発見されたとの報道を目にしても、日本国内に入ってくるのは当分先だろうと楽観していましたし、「我々の出番は永久に来ないのでは」という不吉な思いが頭を掠めることさえありました。今思うと、なんて呑気に構え、そしてコロナウイルスを甘く見ていたのかと自分が恥ずかしくなります。

ご存じのように、年明けの1月中旬から第6波が始まりました。開設から1ヶ月近くの準備期間があったので、満を辞してという表現通り、私たちは「いよいよ出番が来た」と感じました。その後、現在まで40数名の患者さんに当院コロナ病棟を利用いただき、その多くは高齢の方でした。中でも印象に残った一例を紹介させていただきます。暴力を振って点滴も抜いてしまうためとても対応できないと一般病院から紹介されてきた患者さんが、当院コロナ病棟に入院されました。私たちもどうなることやらと入院当初は身構えました。しかし、入院してみると、別人のように穏やかに過ごされ、無事に退院となりました。何か特別なことをしたわけでもなく、強めの安定剤を使ったわけでもありません。気恥ずかしい言い方になりますが、「精神科病棟が持つ人を癒す力」がこの患者さんにとって良い方向に作用したのだと思います。こういう点にこそ当院コロナ病棟の大きな意義があるのだ、と改めて実感した次第です。

そもそも私たちの病棟の使命は、一般のコロナ病棟では対応が難しい精神疾患を抱えた患者さんを受け入れ、抗ウイルス薬の投与など標準的なコロナ治療を行うことです。この間、コロナウイルスに感染したにも関わらず精神疾患があるというだけ標準的なコロナ治療を受けることができず、多くの患者さんが命を落とすという事態が全国で生じました。私たちは、そういう不幸な事例をなくすことに全力を尽くしたいと思っています。そして、コロナウイルス感染症への治療薬、予防薬がさらに進歩して、コロナウイルスへの脅威が限りなくゼロになるまで私たちは努力し続けたいと願っています。

『当院が県から3つの依存症専門医療機関に選定されました。』



医師 坂本 隆

青森県では、国の「依存症対策総合事業実施要綱」及び「依存症専門医療機関及び依存症治療拠点機関の整備について」に基づき、アルコール健康障害、薬物依存症、ギャンブル依存症の患者などが適切な医療を受けられるようにするため、依存症専門医療機関・依存症治療拠点機関等を選定しています。[\(青森県依存症専門医療機関・依存症治療拠点機関等について - 青森県庁ホームページ \(aomori.lg.jp\)\)](#)

アルコール依存症に関しては八戸市の青南病院が最初に依存症専門医療機関の選定を受け、翌年度に青森市の生協さくら病院とならんで当院が選定されていましたが、今年3月に「アルコール健康障害、薬物依存症、ギャンブル依存症」の3疾患について依存症専門医療機関として選定されたもので、青森県としては初めてで唯一の選定です。

当院は1976年開設の年の10月に、東北では初めてとなる「アルコール専門病棟」を設置して、全国的にも先駆けてアルコール依存症の治療に取り組んできました。また、2012年頃からはギャンブル依存症などに対しても積極的に治療を行ってきており、依存症治療の柱であるARPもアルコール依存症リハビリテーション・プログラムからアディクション・リハビリテーション・プログラムへと幅を広げてきました。

そうした取組みが県からも評価を受けて、今回の「アルコール健康障害、薬物依存症、ギャンブル依存症」の3依存症専門医療機関として選定されたものと思います。(文責：坂本 隆)

宿泊型自立訓練事業所「ガーベラタウン」

閉所のご挨拶

平素よりガーベラタウンの運営にご理解・ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

当事業所は、施設老朽化など様々な理由から2022年3月31日を以て閉所する事になりました。

2004年8月1日、精神障害者福祉ホームB型「ガーベラタウン」として開設して以来、地域の皆様にご支援・ご指導を頂きました事を心より感謝申し上げます。

2012年4月1日より宿泊型自立訓練事業所となってから、この10年間で総勢81名の入退所者がありました。自立(生活)訓練により多くの利用者が、生活能力を身に付けて地域で生活出来る様になりました。長期入院患者さんや生活障害のある患者さんを積極的に受け入れた事で、施設の役割を果たしてきたと考えております。これまで、ご支援を頂きました事を重ねて心より感謝いたします。

新型コロナウイルス感染対策の一環から、直接挨拶に行けず申し訳ございません。まずは、略儀ながら書面にてご挨拶を申し上げます。

(文責：ガーベラタウン施設長 成田 和歌子)

【お知らせ】

当院で長らく診療を務めておりました、名誉院長である牧口幸一医師が、2022年2月16日永眠されました。

ここに謹んでお知らせいたします。

地域連携室

いつも大変お世話になっております。

昨年12月、コロナ病棟を開設するにあたり、10月末から認知症治療病棟をメインに他病棟を含め退院を進めました。色々とお世話をお願いしたこともあったかと思えます。

また、新患予約が取りにくい場合や、入院を待っていただくなど、ご迷惑をお掛けしたことも多々あったかと思えます。そのような状況にあっても、たくさんご協力いただき、助けていただきました。だいぶ時間がたってしまいましたが、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

今後も引き続き、よろしく願いいたします。

地域連携室一同

診療のご案内

※予約制になっております。

2022年4月4日現在

★外来診療案内 精神科一般 アディクション外来（ア）

	月	火	水	木	金	土
午前 8時30分 ～11時30分 まで受付	坂本（ア） 吉田 関谷 千石	坂本 吉田 関谷 千石	坂本 森山 松尾	坂本（ア） 関谷 千石 山中	吉田 森山	毎週 交代で 診療します
午後 13時00時 ～15時30分 まで受付	吉田	吉田 千石	坂本 森山	松尾 関谷 千石	吉田	

※アディクション（アルコール、ギャンブル、薬物などの依存症）

★はじめての方は地域連携室へご相談下さい。

★医療活動

- ・デイケア・ショートケア
- ・作業療法
- ・精神科訪問看護
- ・家族教室 第2（土）開催
- ・家族会（ひまわり会）偶数月第3（金）開催
- ・認知症看護相談室（予約制）
- ・無料低額診療事業

★入院診療案内

一般精神科病棟 精神科急性期治療病棟 認知症疾患治療病棟（現コロナ病棟）

★MAP



【病院へのアクセス】

車

東北自動車道 大鰐/弘前 IC または
黒石 IC から30分

路線バス

弘前駅 弘南バス藤代営業所行
藤代停留所下車[向かい]
藤代営業所下車[徒歩3分]

組合員バス（無料）

★お問い合わせ 津軽保健生活協同組合 藤代健生病院 地域連携室

〒036-8373 青森県弘前市大字藤代2丁目12の1

TEL: 0172-36-5181 (代表) FAX: 0172-36-2823